

本年度の結果	
	算数
阿蘇市	60
全国	63.2

領域別	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
阿蘇市	68.2	59.1	46.8	66.1
全国	69.8	64.0	51.3	68.7

観点別	知識・技能	思考・判断・表現
阿蘇市	65.3	53.3
全国	68.2	56.7

本年度の主な結果について

○乗法に関して成り立つ性質を用いて計算すること、最小公倍数を求めること、データから資料の特徴や傾向を読み取ることなどは、改善が見られる。

●目的に合った数の処理の仕方を考えること、図形の構成要素に着目して図形の意味や性質、図形の構成の仕方について考察すること、伴って変わる二つの数量の関係に着目して未知の数をもとめることに課題がある。

●既習事項や数学的な表現を用いて説明することには引き続き課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 被乗数に空位のある整数の乗法の計算をする。(1(1))
- 二つの数の最小公倍数を求める。(1(2))
- 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる。(1(3))

【課題】

数と計算

- 示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる。(1(4))
- 除法に関して成り立つ性質を記述できる。(3(2))

図形

- 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる。(4(1))
- 示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる。(4(4))

変化と関係

- 示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらない。(2(3))
- 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる。(2(4))

データの活用

- 分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる。(3(2))

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 「算数の勉強は好き」「算数の勉強は大切」は、全国よりも高い。
- 「公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。」と回答した割合は年々増加傾向にある。
- 学習したことを生活の中で活用できないか考える児童は昨年よりも減っているが、全国よりも高い。

【課題】

- 「算数の授業の内容は分かる」は増加傾向であったが、伸びが止まり全国よりも低い。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- 単元デザインや授業デザインを基に、育成を目指す資質・能力をどこで、どのようにして付けていくかを明記して授業を行い、振り返るとともに、指導と評価の一体を図る。
- 児童自らが「問い」を見だし、解決の見通しを持って課題解決に取り組ませる。
- 数量や図形についての概念等を数学的活動や生活場面と関連させながら理解させる。
- 数学的な表現を用いて根拠をもって筋道立てて考える能力を育て、伝え合ったり説明したりする学び合いの充実を図る。
- 協働的な学びでは、数学的な見方・考え方を働かせながらこれまでの知識・技能をアウトプットして数学的に考える資質・能力を育成する。

【日常的な取組】

- 児童主体の授業づくりを目指し、数学的活動を通じた活動や効果的なICTの活用を図る。
- 基礎・基本の習熟を図るため、補充的・発展的に個に応じた指導の充実を図る。

【家庭学習等】

- 授業内容に応じた課題を出し、予習・復習の内容の充実を図る。